

温度スイッチ

施工要領

温度スイッチは、陽のまどの運転を制御するための重要な部品です。

仕様

夏用温度スイッチ：M3-30XB または MQT8K-30XB（微小電流仕様）

涼しい空気を必要とし、熱い空気を不要とする場合に使用します。

設定温度(30℃)以下でファン運転

34.5℃以上でファン停止

冬用温度スイッチ：M3-25YB または MQT8K-25YB（微小電流仕様）

暖かい空気を必要とする場合に使用します。

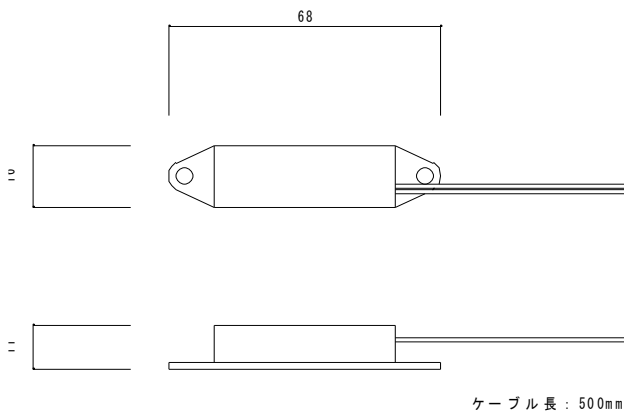
設定温度(25℃)以上でファン運転

20.5℃以下でファン停止

温度スイッチの設定値は1℃刻みで任意の仕様を用意することができます。左記以外の仕様をご希望の方はご相談下さい。

温度スイッチから端子台までの配線ケーブルは以下のものを用意してください。

VCTF-2x0.75



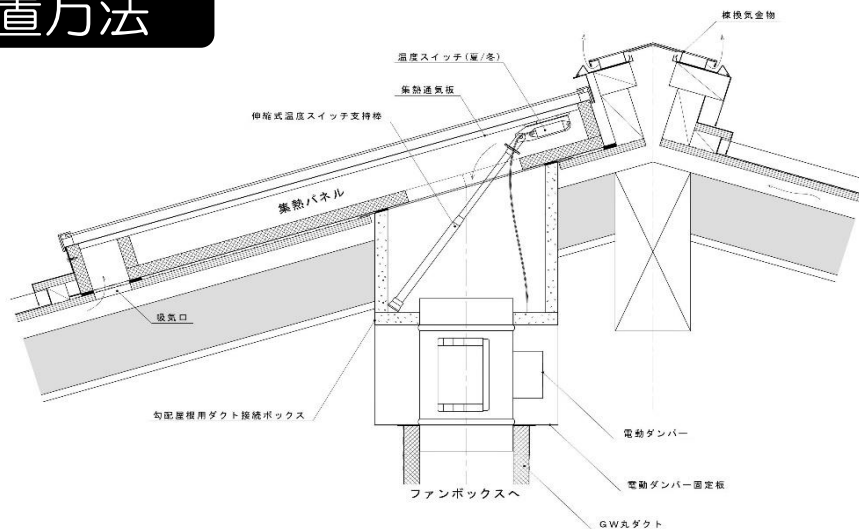
温度スイッチ 外形寸法（図はM3タイプを示す）



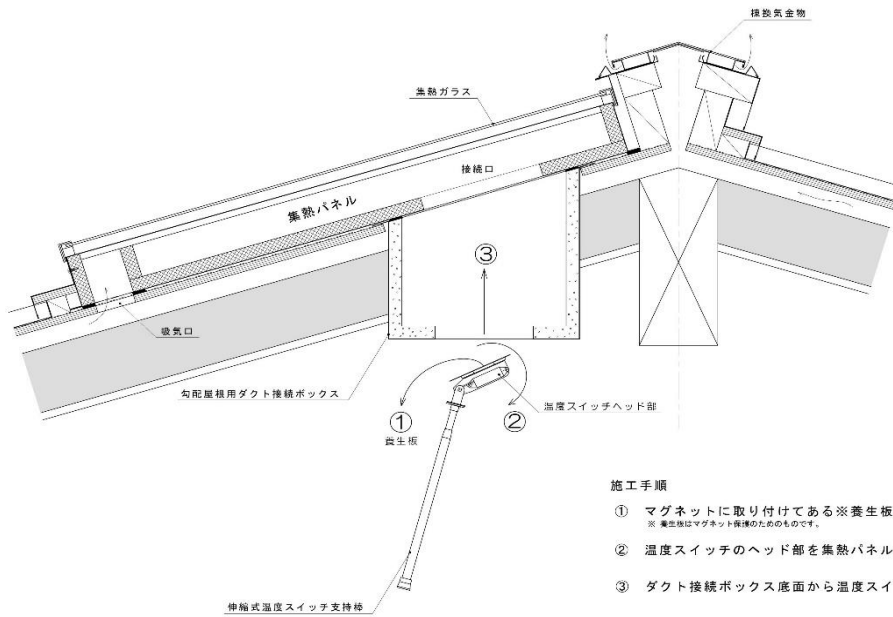
注意

温度スイッチに強い衝撃を与えないで下さい。内部が破損して正しく動作しなくなる恐れがあります。

設置方法

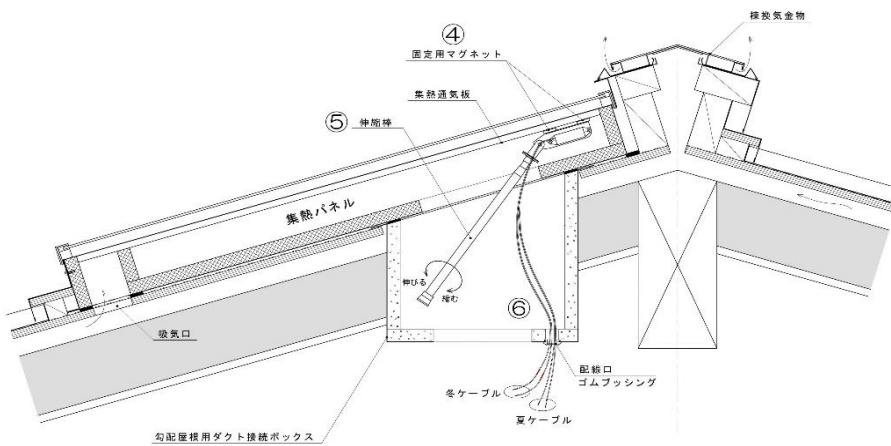


施工手順



施工手順

- ① マグネットに取り付けてある※養生板を取り外す。
※ 養生板はマグネット保護のためのものです。
- ② 温度スイッチのヘッド部を集熱パネル設置勾配に合わせて回転させる。
- ③ ダクト接続ボックス底面から温度スイッチ支持棒を挿入する。

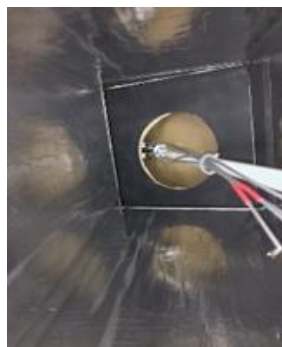


施工手順

- ④ 温度スイッチヘッド部の固定用マグネットを集熱通気板表面に貼り付ける。
温度スイッチは極力パネルの模通りに設置する。
- ⑤ 伸縮棒を回転させて長さを調整し、ダクト接続ボックス底面に突っ張らせる。
取り外したい場合は伸縮棒を縮め、下方に引っ張って温度スイッチヘッド部のマグネットを通気板から外す。
- ⑥ 温度スイッチ(冬/夏)の配線ケーブルをダクト接続ボックス底面の配線口から室内に通して端子ボックスまで配線する。



温度スイッチ支持金物



集熱パネル内に取り付け



ダクト接続ボックス底面に固定

注意事項

1. 製品の取扱いについて

温度スイッチは大変デリケートな製品で、強い衝撃を受けると正確な動作が出来なくなるので取扱いは慎重に行ってください。

下記に当てはまる場合は動作が変化することがあります。

- 40cm以上の高さから落としたとき
- リード線を持って作業台等にぶつけたとき
- 上記と同等以上の衝撃を与えたとき

正確な動作が出来なくなるとは、例えば冬用スイッチを誤って高所から落下させてしまった場合、温度25℃でONは問題ないが、20.5℃でOFFの設定が狂ってしまい20℃以下でもファンが止まらなくなることがあります。

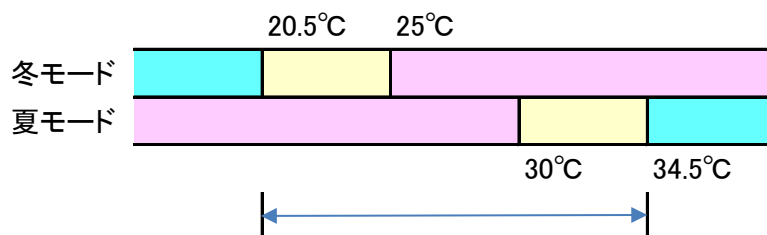
2. 温度スイッチの動作範囲について

陽のまどの運転において操作スイッチ「季節」の「夏」または「冬」のどちらを選択してもファンが動作することがあります。これは冬と夏の温度スイッチの動作範囲が重なる温度域（下図）に入っている場合に起こることなので、故障ではありません。。

冬用温度スイッチ 25℃以上でON 20.5℃以下でOFF

夏用温度スイッチ 30℃以下でON 34.5℃以上でOFF

20.5℃～34.5℃の範囲は動作温度が重なっている。



合同会社サンシャイン・ラボ

〒430-0947 静岡県浜松市中央区松城町200-9 臼井ビル2階

TEL : 053-401-4008 FAX : 053-401-4009